

研究発表 II

講演者：愛川高等学校 P T A 成人交通安全委員会

学校名：神奈川県立愛川高等学校

「自転車点検を通じて安全意識を高める」

1 はじめに

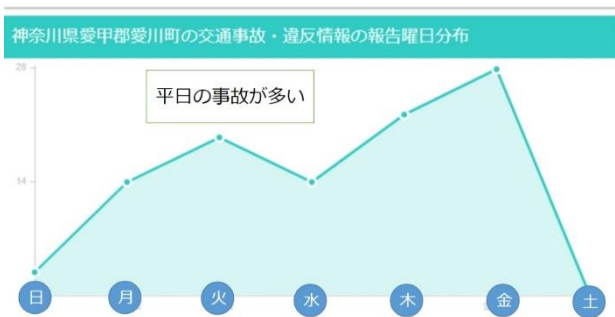
本校 P T A 成人交通安全委員会は、年に 2 回の自転車点検を実施している。なぜ自転車かという
と、全生徒の半数以上が自転車通学をしており、周辺の道路は交通量が非常に多く、急な坂も多いた
め、日ごろから自転車点検をすることで事故の防止につながると考えるからである。したがって、以
下の資料を作成して発表を行った。



2 発表資料（一部抜粋）



本校PTAにおける 交通安全の取り組み



**安全
第一**
点検・修
理
のよびか
け



点検用紙について 以前の書式

愛川高等学校 P T A 成人交通安全委員会
自転車点検を終了しました

あなたの自転車は

- ライトが（ない・点灯しない）
- ベルが（ない・鳴らない）
- タイヤの空気圧（弱・強）
- ブレーキの効き具合（左・右）
- カギがついていない
- その他（ ）

点検・修理をして、安全に乗りましょう！

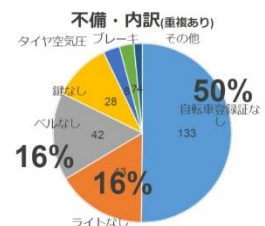
愛川高等学校 P T A 成人交通安全委員会
自転車点検の結果通知書

あなたの自転車の不備箇所は

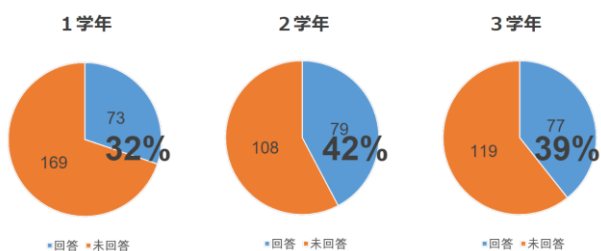
- ライト（ ）
- ベル（ ）
- タイヤ（ ）
- ブレーキ（ ）
- カギ（ ）
- その他（ ）

点検結果が「安全」であることを確認し、安全に乗りましょう。

自転車点検の結果



生徒アンケートの回答率



今後の課題

- ・ 修繕報告書の返信件数が1件でした。今後はどのようにしていくか。現状では「点検しっぱなし感」がぬぐえない。

点検を行ってみて

アンケートのプラス意見

- ・ 点検してくれたありがたい
- ・ 今後も整備してほしい

今後の活動

- ・ 自転車点検の実施+交通ルール順守の徹底
- ・ 放課後の下校見守り



3 発表方法

3に挙げたパワーポイント資料をもとに発表した。自転車点検の理由は1で書いたとおりである。例年は自転車点検をしても点検用紙がその場で捨てられてしまうことが散見されたため、今年から点検用紙の形式を変え、保護者にチェックしてもらい、後日、学校に点検用紙を提出するかたちにした。ところが、提出は1件のみであり、生徒達が現状をどのように考えているかを理解するため、デジタルアンケートを実施した。アンケート回答率は全体で3割程度であり、どうしても「点検したらそれで終わり」という感じが拭えない結果となった。ただ、プラスの意見もあり、今後も自転車点検を実施し、交通ルール順守の徹底を粘り強く行うことにした。

4 講評

発表後、県立厚木清南高等学校の今田（こんだ）校長より講評をいただいた。内容は以下のとおり。

- ・ 「自転車事故の懸念は多くの学校が抱いており、大変参考になる発表であった。」
- ・ 「平日の事故件数であったり、アンケート結果をデータ化することで非常に説得力ある発表だった。」
- ・ 「今年の高校生の自転車事故件数は、今年の同時期と比較して15件も増えているため、タイムリーな発表で興味深かった」

5 発表を終えて

生徒に周知する決定的な方法を見つけることは困難だが、生徒を思う気持ちはPTA一同同じである。今後は自治体にも働きかけてガードレールの設置を申請したり、警察に見回りをお願いする等、できることから少しずつ実施し、楽しく活動していく所存である。